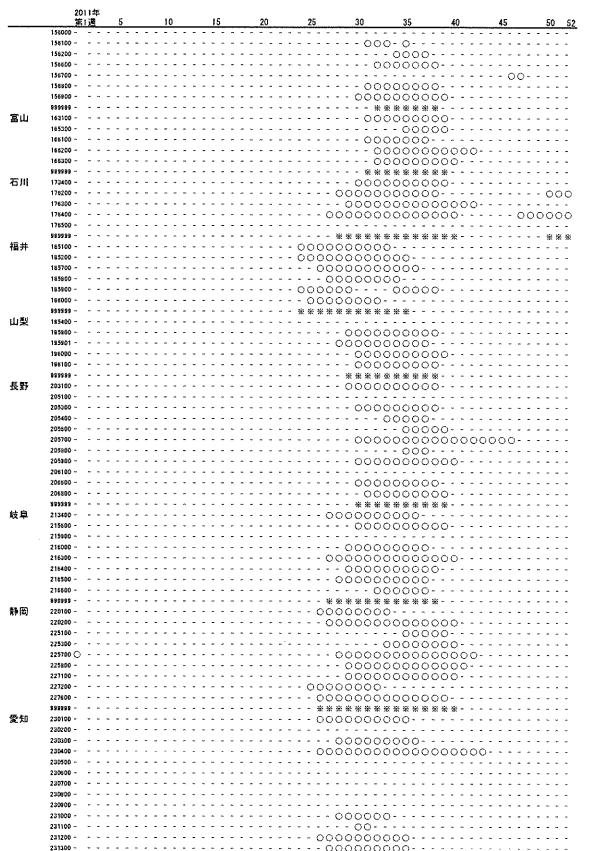
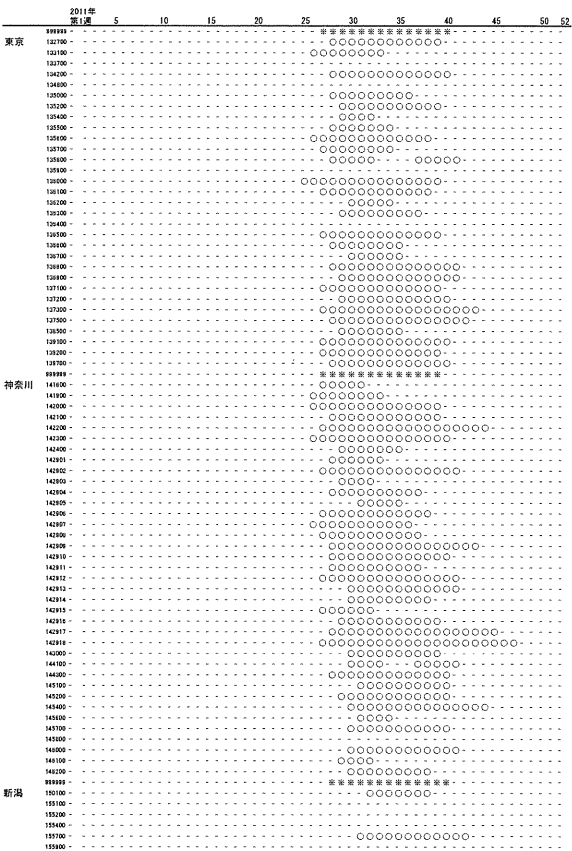
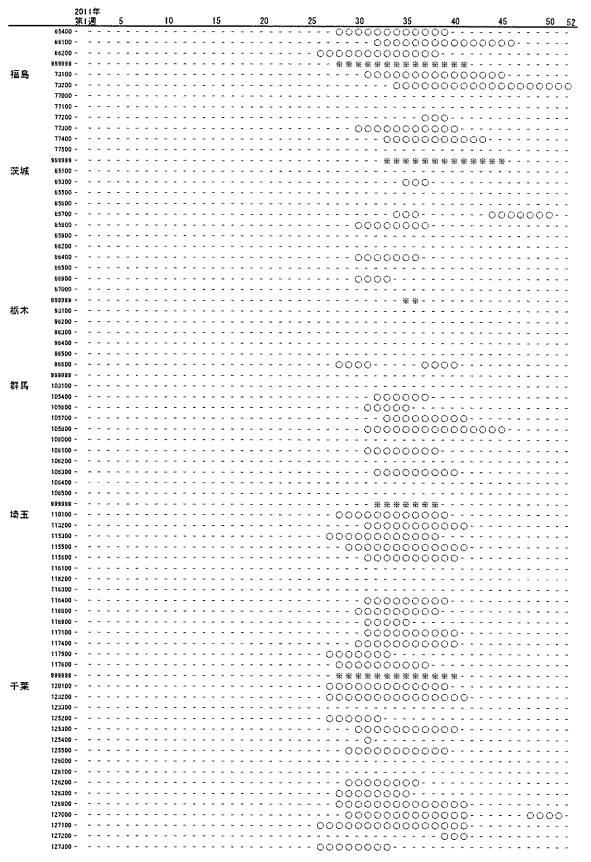
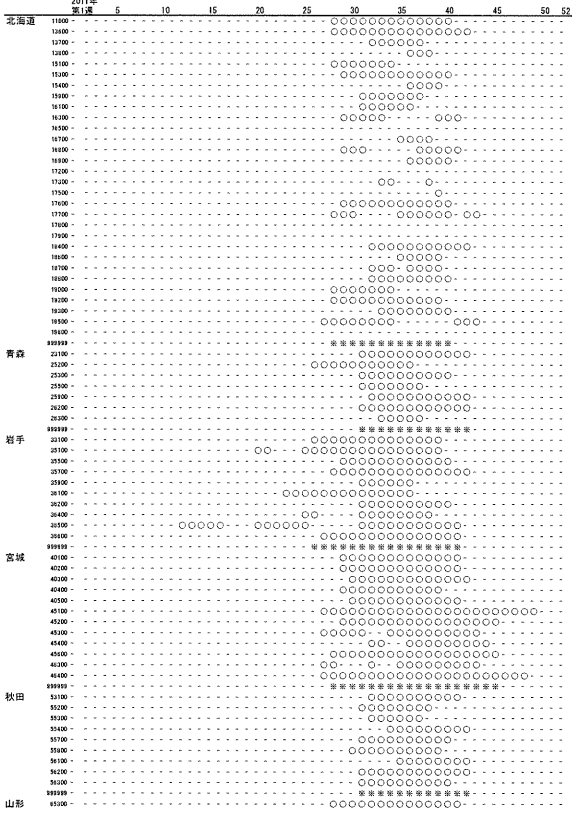
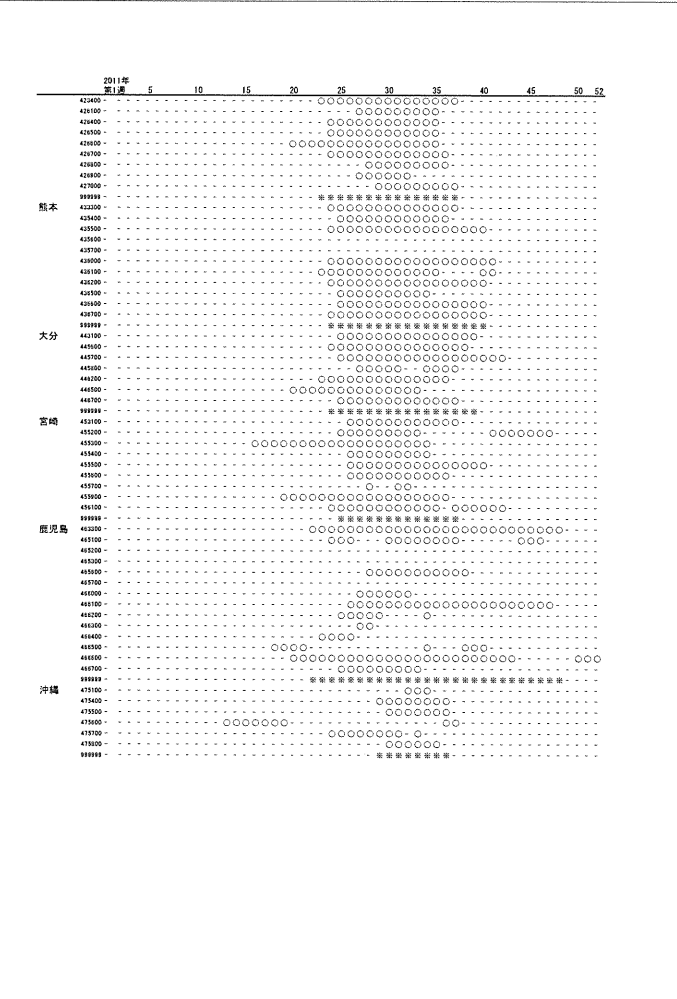
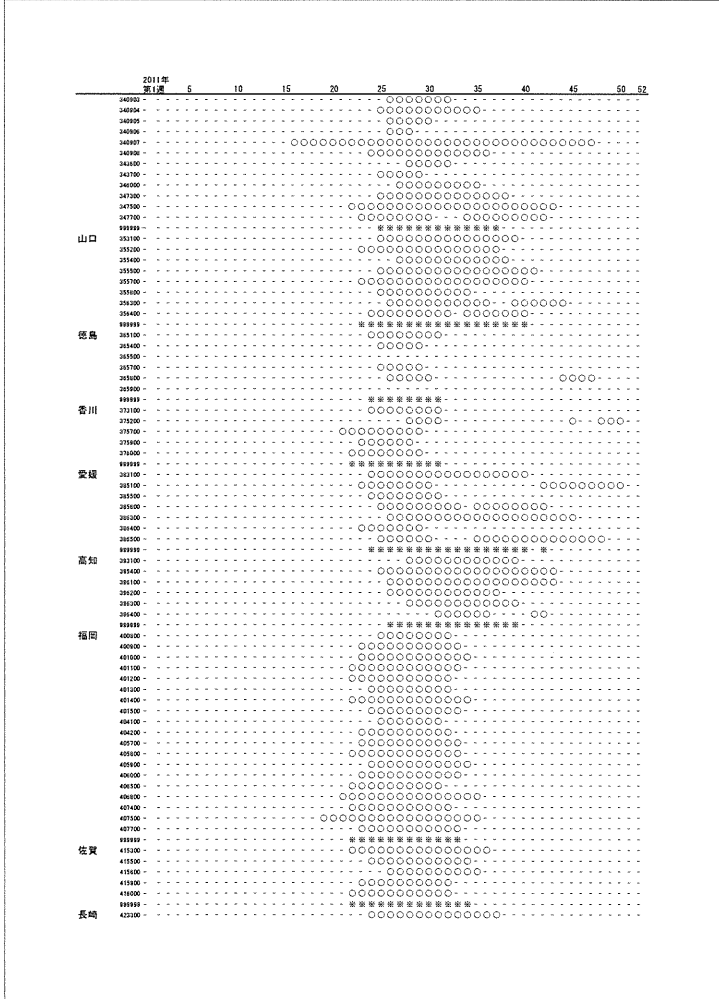
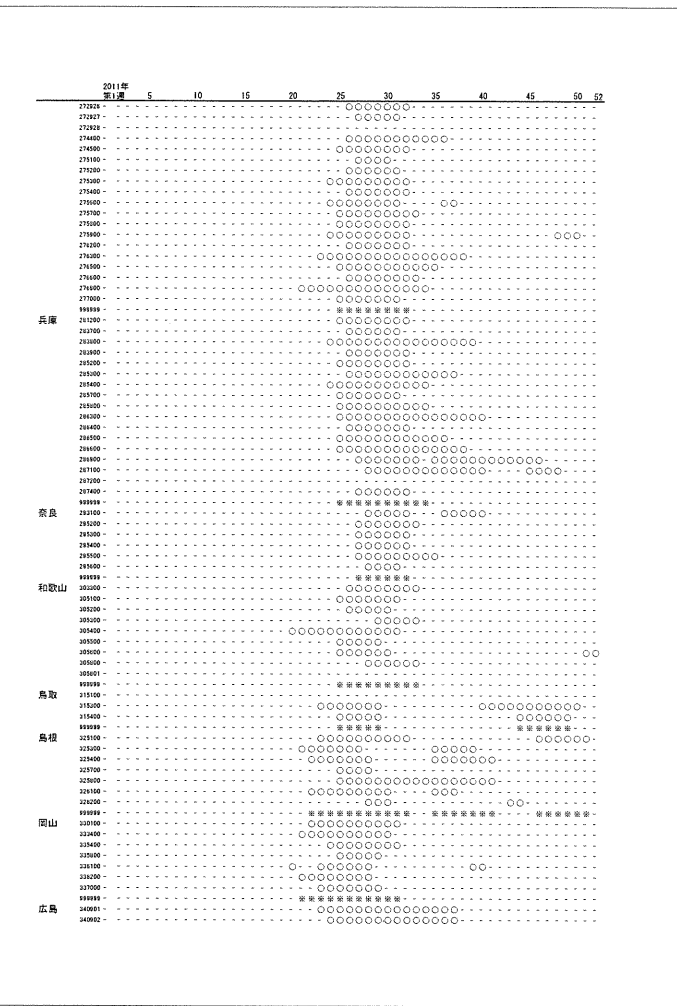
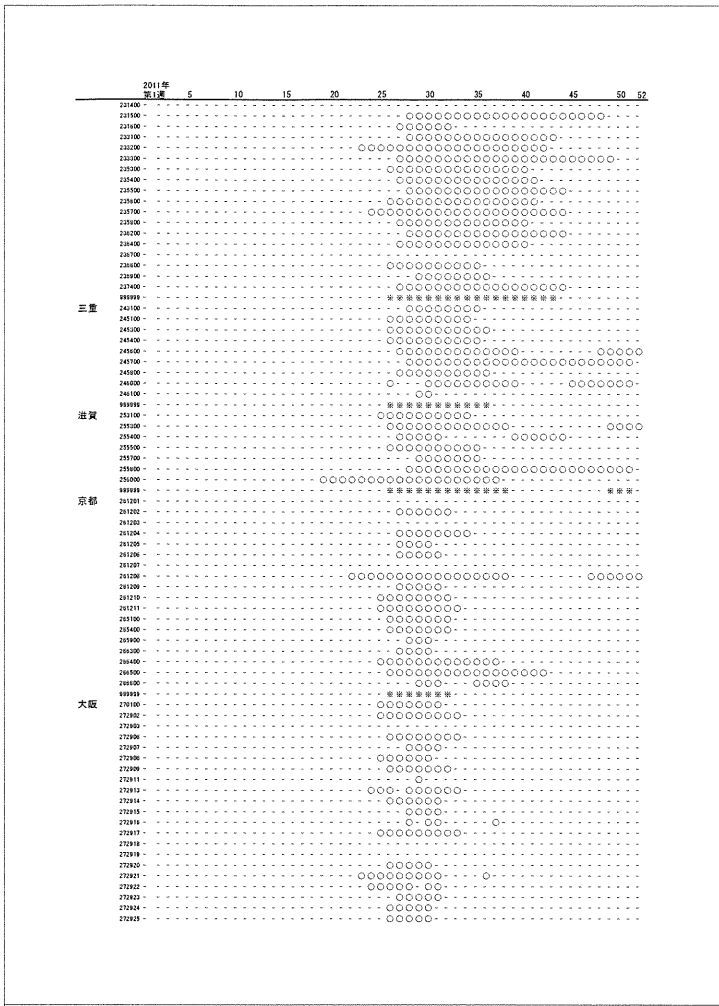


図4. 県警報と保健所警報の週別発生状況、手足口病、2011年

※：都道府県警報
○：保健所警報





自然災害時を含めた感染症サーベイランスの強化・向上に関する研究

疫学的・統計学的なサーベイランスの評価と改善グループ

罹患数の推計

—2011年までの推計値の観察—

研究協力者	川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学	講師
	橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学	教授
	村上 義孝	滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門	准教授
	太田 晶子	埼玉医科大学医学部公衆衛生学	講師
	谷口 清州	国立感染症研究所感染症情報センター	客員研究員
	多田 有希	国立感染症研究所感染症情報センター	第二室 室長
	重松 美加	国立感染症研究所感染症情報センター	主任研究官
研究分担者	永井 正規	埼玉医科大学医学部公衆衛生学	教授

研究要旨

疫学的・統計学的なサーベイランスの評価と改善グループでは、課題の一つとして全国年間罹患数推計に関する検討を行ってきた。感染症発生動向調査に基づくインフルエンザ、小児科定点対象疾患、眼科定点対象疾患の罹患数の推計値について、2011年のデータを追加し、推移をまとめた。

A. 研究目的

感染症発生動向調査の主目的は流行の早期把握であるが、副次的目的として定点把握対象疾患の全国罹患数の推計が挙げられる。本研究グループでは、課題の一つとして全国年間罹患数推計に関して検討を行ってきた。2006年4月1日より利用開始されたシステムにおいては、本研究グループが提案した方法により、インフルエンザ・小児科定点対象12疾患（2008年より10疾患に減）・眼科定点対象2疾患について毎週の報告数が得られると同時に逐次的に全国罹患数推計が行われ、週別・月別・年別に、性別または年齢階級別の全国罹患数推計値が計算されている。

ここでは、感染症発生動向調査システムにおける罹患数推計について、推計値のまとめを行う。

B. 研究方法

対象疾患は、インフルエンザ、小児

科定点対象10疾患（咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発疹、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎）、眼科定点対象2疾患（急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎）とした。小児科定点対象疾患であった風疹と麻疹は2008年から全数把握対象疾患に変更されているため、一部対象外とした。

資料として、過去に本研究グループが推計を実施した2002年から2005年の年別の全国罹患数推計値と、2006年から2011年の感染症発生動向調査システムによる年別の全国罹患数推計値、2006年から2012年第18週までの週別推計値を利用した。2012年の推計値は暫定値である。推計値は、総数、および、男女別・年齢階級別に得た。

小児科定点対象10疾患・眼科定点対象2疾患の全国の罹患数推計値について、2006年から2011年の年間罹患数の推移と、週別罹患数の推移を示した。

インフルエンザについて、2006年から2011年までの年間罹患数推計値を示すとともに、2006/2007年から2011/2012年まで、シーズン別の推計値と週別罹患数推計値の推移を示した。シーズン別の推計値はいずれも期間中の週別罹患数推計値を合計することにより求めた。

各シーズンの期間については、基本的に第36週～翌年第35週としたが、新型インフルエンザのため、2008/2009年は2008年第36週～2009年第27週、2009/2010年は2009年第28週～2010年第35週とした。2012年の推計値は、データ入手時点で暫定値であり、かつ第18週分までしか得られなかったため、2011/2012年のシーズンは2012年第18週までとなっている。

(倫理面への配慮)

本研究では、個人情報を含むデータを取り扱わないため、個人情報保護に関係する問題は生じない。「疫学研究に関する倫理指針」の適用範囲ではないが、資料の利用や管理など、その倫理指針の原則を遵守した。

C. 研究結果

1) 罹患数推計値のまとめ

表1に2002年～2011年の罹患数推計値の年次推移を示す。2002年～2005年の推計値は当グループによる推計値、2006年以降は同じ推計方法により感染症発生動向調査システム上で計算された推計値である。2009年のインフルエンザは新型インフルエンザを含む。

2011年の罹患数推計値は2006～2010年の推計値と比較して、インフルエンザが1,394万人、手足口病が217万人、伝染性紅斑が59万人と多かった。急性出血性結膜炎が沖縄県での大流行に伴い、4.8万人(95%信頼区間1.8～7.8万人)と極めて多かった。

2) 疾患別罹患数推計値

小児科定点対象10疾患と眼科定点対象2疾患について、図1-1～12に2006年から2011年の全国年間罹患数と週別罹患数の推計値の推移を示す。

3) インフルエンザのシーズン別罹患数推計値

インフルエンザについて、図2に2006/2007年シーズン～2011/2012年シーズンのシーズン別罹患数推計値、2002年～2012年第18週の全国週別罹患数の推計値の推移を示す。各シーズンの期間については、方法の項の通りである。また、2012年の値は暫定値を利用している。期間中の週別罹患数推計値の合計により求めたシーズン別の罹患数推計値は、2006/2007年が1,136万人、2007/2008年が684万人、2008/2009年が1,393万人、2009/2010年が2,091万人、2010/2011年が1,388万人、2011/2012年が1,651万人であった。

D. 考察

本研究グループで検討を進めてきた全国年間罹患数推計について、2011年のデータを追加し、推計値の推移をまとめた。また、感染症発生動向調査における性感染症の罹患数推計の導入を提案する。

2006年4月1日より利用開始された感染症発生動向調査システムにおいて、システム利用者は本研究グループが提案した方法によるインフルエンザ・小児科定点対象12疾患(2008年より10疾患)・眼科定点対象2疾患の全国罹患数推計値を参照することができる。特にインフルエンザに関しては、2009/2010年のA(H1N1)pdm流行以降、インフルエンザ流行マップのホームページなどで推計値が利用されるようになり、一般にも知られるようになった。

今後も推計方法について検討していくとともに、感染症対策に資するため、罹患数推計値の様々な形での利用を検討し進めていく必要がある。

E. 結論

感染症発生動向調査に基づくインフルエンザ、小児科定点対象疾患、眼科定点対象疾患の罹患数の推計値について、2011年のデータを追加し、推移を

まとめた。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表 1 . 2002 年～2011 年の罹患数推計値のまとめ

5類感染症定点把握対象疾患	年次									
	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009 ^{#1}	2010	2011
インフルエンザ ^{#1}	736	1,156	895	1,820	977	1,274	630	3,067	315	1,394
咽頭結膜熱	10.7	26.9	39.5	40.9	59.4	35.5	42.5	23.1	25.9	41.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	101.8	109.4	137.4	131.6	172.9	165.4	183.5	146.4	139.4	173.7
感染性胃腸炎	676.6	699.6	746.9	733.7	874.4	756.6	813.8	617.9	942.8	748.6
水痘	162.8	150.0	149.5	156.1	156.8	152.4	136.6	121.1	150.1	147.4
手足口病	57.7	104.4	53.4	66.5	58.4	59.9	85.6	41.2	91.4	217.2
伝染性紅斑	38.2	21.1	31.9	28.1	39.9	48.9	11.3	10.7	32.6	58.5
突発性発疹	68.7	68.2	68.5	68.9	60.3	58.6	58.5	53.6	54.3	55.5
百日咳	1.1	1.4	1.3	1.1	1.0	2.4	5.6	3.9	5.5	3.6
風疹 ^{#2}	2.1	2.2	3.9	1.1	0.6	0.4				
ヘルパンギーナ	71.0	92.4	66.8	93.9	72.4	78.1	67.7	45.4	82.4	82.6
麻疹 ^{#2}	7.9	5.5	1.2	0.6	0.4	2.3				
流行性耳下腺炎	108.9	51.5	82.1	135.6	118.6	43.1	42.6	64.3	108.6	80.1
急性出血性結膜炎	1.5	1.6	1.1	1.1	1.2	1.3	1.4	0.8	1.1	4.8
流行性角結膜炎	54.7	49.9	42.3	44.6	46.7	34.1	34.9	24.1	31.2	30.3

単位：万人

#1：新型と季節性の両方を含む。

#2：2008年から全数把握対象疾患となった。

図 1 - 1 . 疾患別罹患数推計値 咽頭結膜熱

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	59.4	52.5 - 66.4	35.5	24.8 - 46.2	42.5	31.4 - 53.6	23.1	17.4 - 28.7	25.9	21.7 - 30.1	41.2	36.6 - 45.8
男	32.4	28.4 - 36.3	19.0	13.7 - 24.3	23.2	17.5 - 29.0	12.8	9.7 - 15.9	14.5	12.1 - 16.8	22.9	20.3 - 25.5
女	27.0	24.0 - 30.1	16.5	11.1 - 22.0	19.3	13.9 - 24.6	10.3	7.7 - 12.9	11.4	9.6 - 13.3	18.3	16.2 - 20.4
0～4歳	36.5	31.7 - 41.3	23.1	13.9 - 32.4	29.4	19.1 - 39.7	17.0	12.5 - 21.4	18.9	15.4 - 22.4	28.0	24.4 - 31.6
5～9歳	18.5	16.1 - 20.9	9.8	7.2 - 12.4	10.6	9.1 - 12.2	5.1	3.6 - 6.6	5.7	4.9 - 6.6	11.0	9.8 - 12.1
10～14歳	2.1	1.8 - 2.4	1.3	0.9 - 1.8	1.2	1.0 - 1.3	0.5	0.4 - 0.7	0.6	0.4 - 0.7	1.2	1.0 - 1.5
15歳以上	2.3	1.9 - 2.7	1.2	0.8 - 1.6	1.3	0.9 - 1.7	0.5	0.4 - 0.6	0.7	0.5 - 0.9	1.1	0.8 - 1.3

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

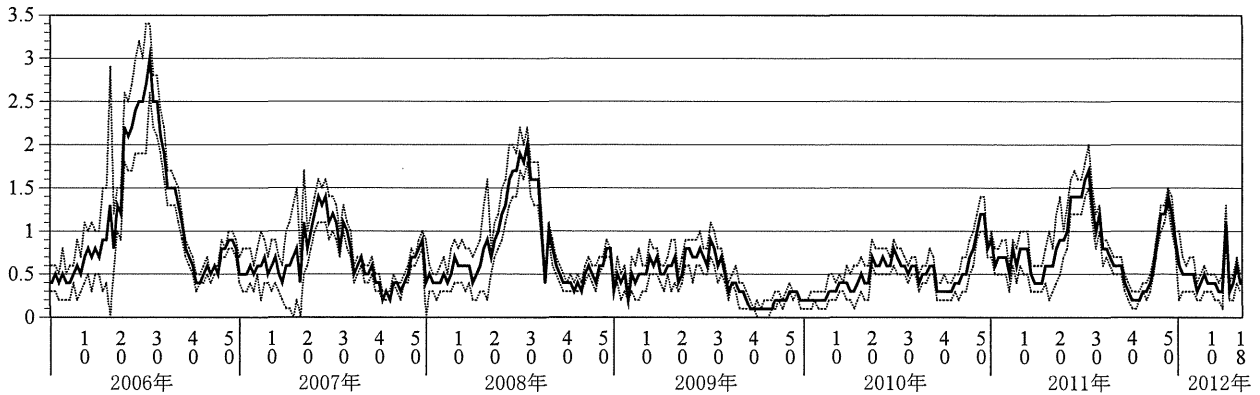


図 1 - 2 . 疾患別罹患数推計値 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	172.9	151.2 - 194.5	165.4	143.0 - 187.7	183.5	154.9 - 212.1	146.4	123.1 - 169.6	139.4	121.4 - 157.4	173.7	154.3 - 193.1
男	91.8	80.3 - 103.2	87.7	76.0 - 99.5	96.1	81.6 - 110.6	76.6	64.7 - 88.4	73.2	63.7 - 82.8	92.3	81.8 - 102.8
女	81.1	70.8 - 91.4	77.6	67.0 - 88.3	87.4	73.1 - 101.6	69.8	58.3 - 81.4	66.2	57.7 - 74.7	81.5	72.5 - 90.4
0～4歳	52.0	44.9 - 59.0	50.7	43.3 - 58.1	57.5	48.3 - 66.7	47.8	38.7 - 56.9	42.2	35.2 - 49.3	55.7	48.3 - 63.0
5～9歳	87.7	76.9 - 98.4	80.9	70.7 - 91.2	89.1	76.0 - 102.2	68.6	59.0 - 78.2	68.1	59.9 - 76.2	85.9	76.9 - 95.0
10～14歳	15.8	13.5 - 18.2	15.5	13.3 - 17.8	17.4	14.3 - 20.6	14.4	11.9 - 16.9	13.5	11.5 - 15.5	17.3	14.8 - 19.7
15歳以上	17.4	12.1 - 22.8	18.2	12.6 - 23.9	19.5	13.5 - 25.5	15.7	10.7 - 20.6	15.6	10.6 - 20.7	14.9	11.0 - 18.8

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

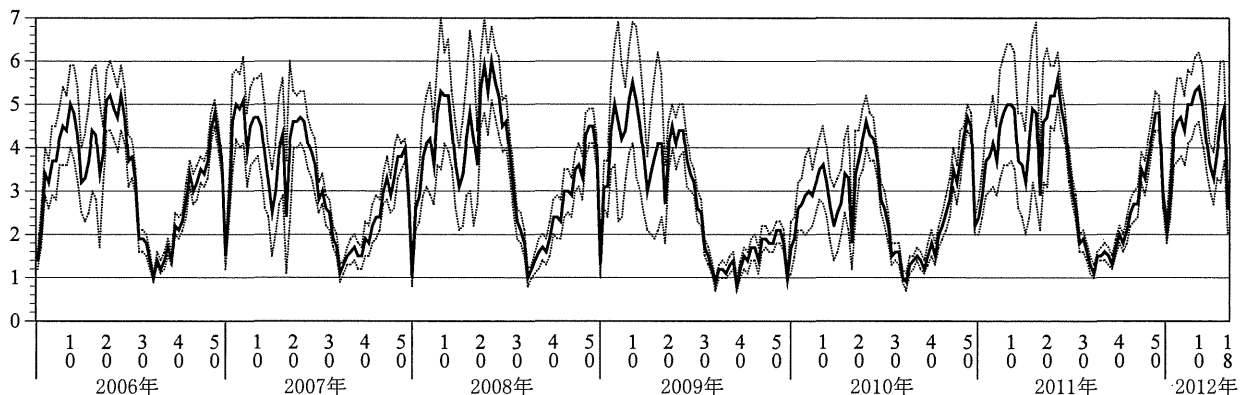


図 1 - 3 . 疾患別罹患数推計値 感染性胃腸炎

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	874.4	808.9 - 939.9	756.6	692.3 - 820.8	813.8	738.1 - 889.5	617.9	565.8 - 670.1	942.8	871.6 - 1,013.9	748.6	677.7 - 819.5
男	440.1	408.9 - 471.3	383.4	353.3 - 413.4	412.4	377.3 - 447.4	314.4	289.6 - 339.2	476.6	442.2 - 511.1	381.5	346.4 - 416.6
女	434.3	399.7 - 468.9	373.2	338.5 - 408.0	401.4	360.2 - 442.7	303.6	275.7 - 331.4	466.1	429.0 - 503.3	367.1	330.7 - 403.5
0～4歳	349.3	310.3 - 388.4	319.6	272.1 - 367.1	343.1	285.7 - 400.6	267.4	235.4 - 299.5	410.2	366.4 - 454.1	332.8	297.7 - 367.8
5～9歳	199.2	184.8 - 213.6	169.6	154.6 - 184.7	190.4	172.2 - 208.6	142.5	129.0 - 156.0	231.5	211.2 - 251.8	181.2	159.5 - 203.0
10～14歳	75.1	69.8 - 80.4	65.1	59.9 - 70.2	70.2	64.9 - 75.5	54.7	50.0 - 59.5	78.8	72.4 - 85.2	64.5	57.7 - 71.2
15歳以上	250.8	225.2 - 276.3	202.3	180.5 - 224.1	210.1	186.5 - 233.6	153.3	133.5 - 173.0	222.2	195.6 - 248.8	170.1	144.2 - 196.0

単位：万人

週別全国罹患数の
推計値(万人) 点線は95%信頼区間

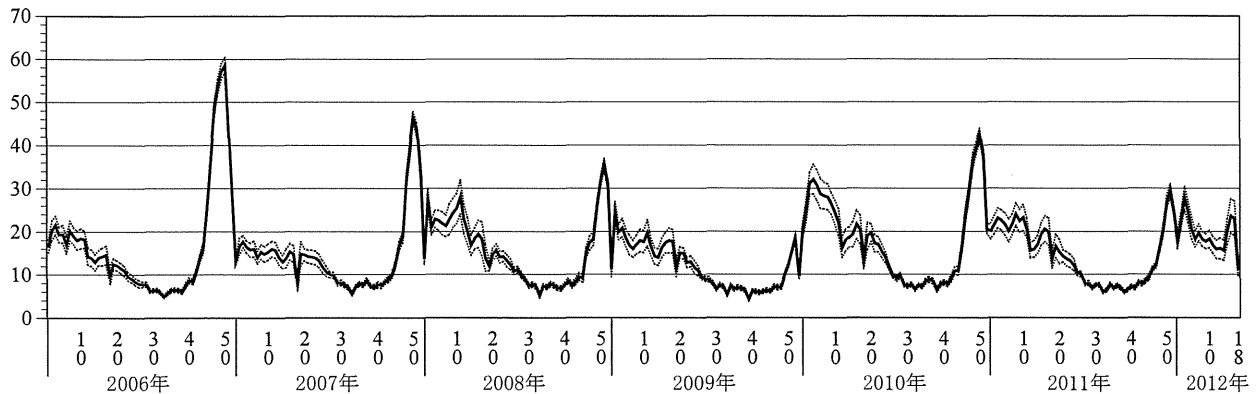


図 1 - 4 . 疾患別罹患数推計値 水痘

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	156.8	148.0 - 165.7	152.4	143.1 - 161.8	136.6	129.2 - 143.9	121.1	113.7 - 128.5	150.1	141.1 - 159.1	147.4	138.9 - 155.8
男	80.9	76.6 - 85.3	78.6	73.7 - 83.6	70.9	66.7 - 75.0	62.7	58.6 - 66.9	77.0	72.4 - 81.6	76.5	71.7 - 81.2
女	75.9	71.1 - 80.7	73.8	69.1 - 78.4	65.7	61.8 - 69.6	58.3	54.8 - 61.8	73.1	68.6 - 77.6	70.9	66.8 - 75.0
0～4歳	117.5	110.3 - 124.8	113.9	106.5 - 121.3	104.5	98.3 - 110.6	92.2	86.3 - 98.0	111.8	104.8 - 118.8	108.2	102.1 - 114.4
5～9歳	34.0	31.8 - 36.2	32.7	30.1 - 35.4	27.7	26.1 - 29.2	25.1	23.3 - 27.0	34.2	31.9 - 36.4	34.6	32.2 - 37.0
10～14歳	2.9	2.5 - 3.2	3.1	2.6 - 3.7	2.4	2.1 - 2.7	2.2	1.9 - 2.4	2.6	2.3 - 2.9	2.8	2.6 - 3.1
15歳以上	2.4	1.9 - 3.0	2.7	2.0 - 3.3	2.1	1.6 - 2.6	1.6	1.3 - 1.9	1.6	1.2 - 1.9	1.7	1.2 - 2.3

単位：万人

週別全国罹患数の
推計値(万人) 点線は95%信頼区間

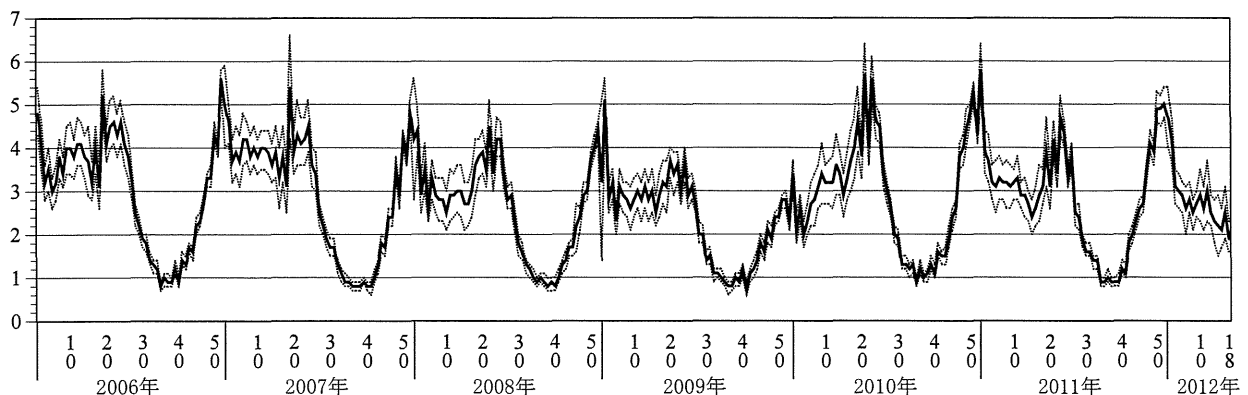


図 1 - 5 . 疾患別罹患数推計値 手足口病

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	58.4	54.3 - 62.5	59.9	51.9 - 67.9	85.6	79.0 - 92.1	41.2	38.4 - 44.1	91.4	84.6 - 98.3	217.2	199.8 - 234.6
男	32.1	29.8 - 34.4	32.6	28.8 - 36.4	46.6	43.2 - 50.0	22.7	21.1 - 24.2	49.3	45.7 - 52.9	118.7	109.8 - 127.6
女	26.3	24.4 - 28.2	27.3	23.1 - 31.5	39.0	35.8 - 42.2	18.6	17.2 - 19.9	42.1	38.7 - 45.5	98.5	89.7 - 107.3
0～4歳	44.4	41.1 - 47.6	48.2	41.5 - 54.9	66.1	60.8 - 71.4	34.4	32.0 - 36.8	69.7	64.4 - 74.9	172.0	159.9 - 184.0
5～9歳	12.3	11.3 - 13.3	10.2	9.0 - 11.5	17.1	15.7 - 18.4	5.6	5.1 - 6.1	18.6	17.0 - 20.3	37.3	30.8 - 43.9
10～14歳	1.0	0.9 - 1.1	0.8	0.7 - 0.9	1.5	1.3 - 1.6	0.5	0.4 - 0.6	1.7	1.5 - 1.9	3.6	3.2 - 4.0
15歳以上	0.7	0.6 - 0.9	0.7	0.5 - 0.9	1.0	0.8 - 1.1	0.7	0.5 - 0.9	1.4	1.2 - 1.6	4.3	3.6 - 4.9

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

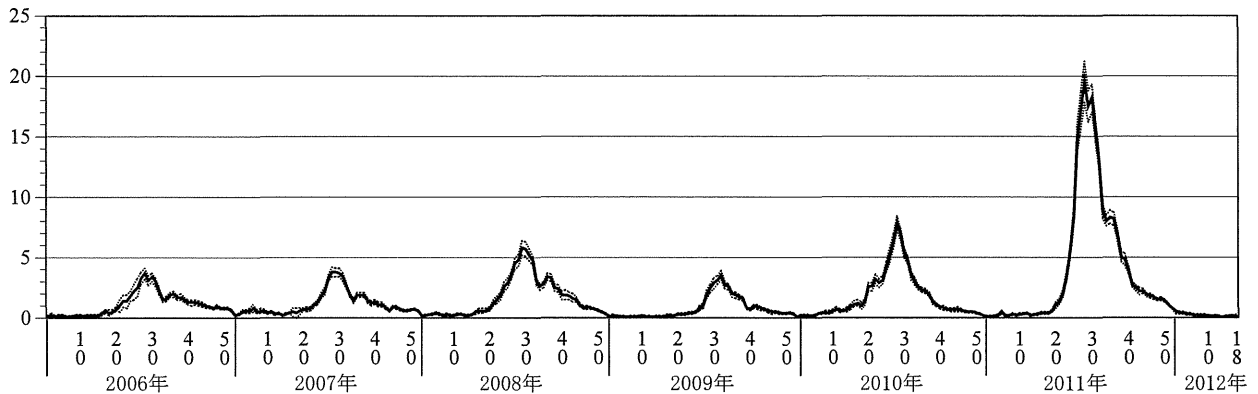


図 1 - 6 . 疾患別罹患数推計値 伝染性紅斑

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	39.9	35.9 - 44.0	48.9	43.3 - 54.5	11.3	10.1 - 12.6	10.7	9.5 - 11.8	32.6	28.9 - 36.3	58.5	51.4 - 65.6
男	19.4	17.3 - 21.4	23.7	21.0 - 26.3	5.4	4.8 - 6.1	5.2	4.6 - 5.7	15.9	14.2 - 17.6	28.1	24.8 - 31.4
女	20.6	18.5 - 22.6	25.3	22.3 - 28.3	5.9	5.2 - 6.6	5.5	4.9 - 6.1	16.7	14.7 - 18.7	30.3	26.5 - 34.2
0～4歳	15.6	13.3 - 18.0	18.6	15.4 - 21.8	4.9	4.3 - 5.5	4.9	4.4 - 5.5	12.6	11.0 - 14.2	22.8	19.9 - 25.7
5～9歳	20.2	18.5 - 21.9	25.9	23.1 - 28.6	5.3	4.7 - 6.0	4.9	4.3 - 5.5	17.6	15.6 - 19.6	30.9	26.9 - 35.0
10～14歳	2.7	2.3 - 3.0	3.1	2.6 - 3.5	0.7	0.6 - 0.8	0.6	0.5 - 0.7	1.6	1.3 - 1.8	3.2	2.8 - 3.6
15歳以上	1.4	1.0 - 1.8	1.4	1.2 - 1.6	0.4	0.3 - 0.5	0.2	0.2 - 0.3	0.8	0.6 - 0.9	1.5	1.3 - 1.8

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

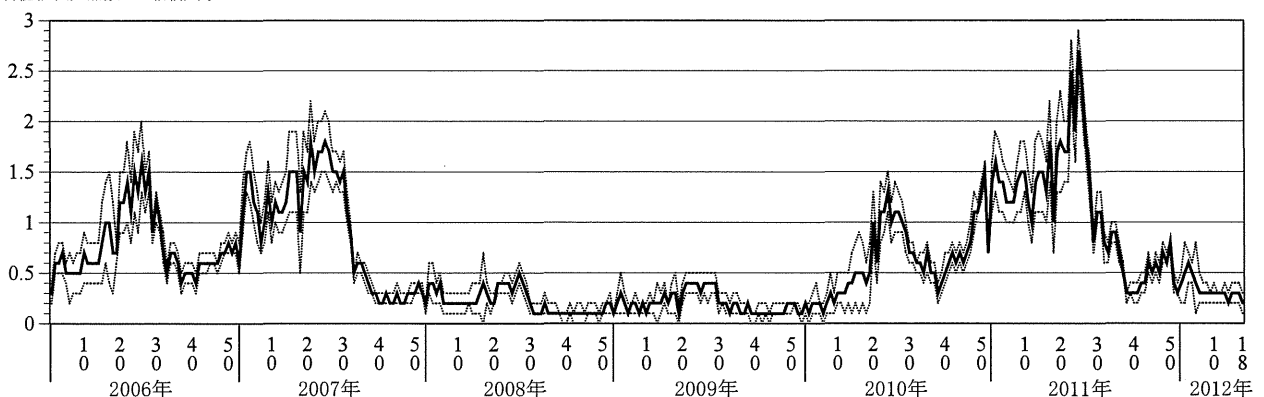


図 1 - 7 . 疾患別罹患数推計値 突発性発疹

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	60.3	54.5 - 66.1	58.6	53.2 - 64.0	58.5	53.1 - 63.9	53.6	48.5 - 58.7	54.3	49.4 - 59.1	55.5	50.4 - 60.6
男	30.8	27.8 - 33.8	29.9	27.2 - 32.5	29.7	27.1 - 32.3	27.3	24.7 - 30.0	27.9	25.4 - 30.4	28.0	25.5 - 30.5
女	29.5	26.5 - 32.4	28.7	25.5 - 32.0	28.7	25.8 - 31.7	26.2	23.6 - 28.9	26.4	24.0 - 28.7	27.4	24.8 - 30.1
0~4歳	60.0	54.2 - 65.8	58.4	53.1 - 63.7	58.3	52.9 - 63.7	53.5	48.4 - 58.6	54.0	49.2 - 58.9	55.1	50.0 - 60.2
5~9歳	0.2	0.1 - 0.2	0.2	0.1 - 0.2	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.1 - 0.1	0.2	0.1 - 0.2	0.3	0.2 - 0.4
10~14歳	0.0	0.0 - 0.1	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.1
15歳以上	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.0	0.0	0.0 - 0.1	0.0	0.0 - 0.0

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

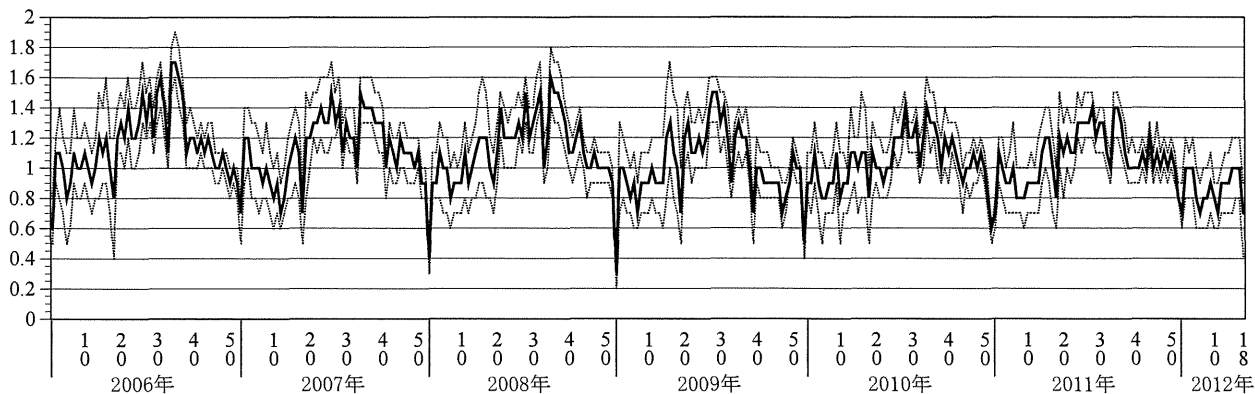


図 1 - 8 . 疾患別罹患数推計値 百日咳

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	1.0	0.8 - 1.3	2.4	1.6 - 3.3	5.6	4.5 - 6.7	3.9	2.8 - 4.9	5.5	3.8 - 7.1	3.6	2.7 - 4.5
男	0.4	0.3 - 0.6	1.0	0.7 - 1.4	2.4	2.0 - 2.9	1.6	1.2 - 2.0	2.3	1.6 - 3.0	1.5	1.1 - 1.9
女	0.6	0.4 - 0.7	1.4	0.9 - 1.9	3.2	2.5 - 3.9	2.3	1.6 - 2.9	3.2	2.2 - 4.2	2.1	1.5 - 2.7
0~4歳	0.5	0.4 - 0.7	0.7	0.5 - 0.8	0.9	0.8 - 1.1	0.7	0.5 - 0.8	1.0	0.6 - 1.4	0.6	0.5 - 0.7
5~9歳	0.1	0.0 - 0.1	0.3	0.2 - 0.4	0.7	0.6 - 0.8	0.3	0.2 - 0.4	0.5	0.3 - 0.7	0.4	0.3 - 0.5
10~14歳	0.1	0.0 - 0.1	0.3	0.1 - 0.4	0.8	0.6 - 0.9	0.3	0.2 - 0.4	0.4	0.3 - 0.5	0.3	0.2 - 0.5
15歳以上	0.3	0.2 - 0.5	1.2	0.7 - 1.8	3.2	2.2 - 4.1	2.6	1.7 - 3.6	3.6	2.4 - 4.8	2.3	1.5 - 3.1

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

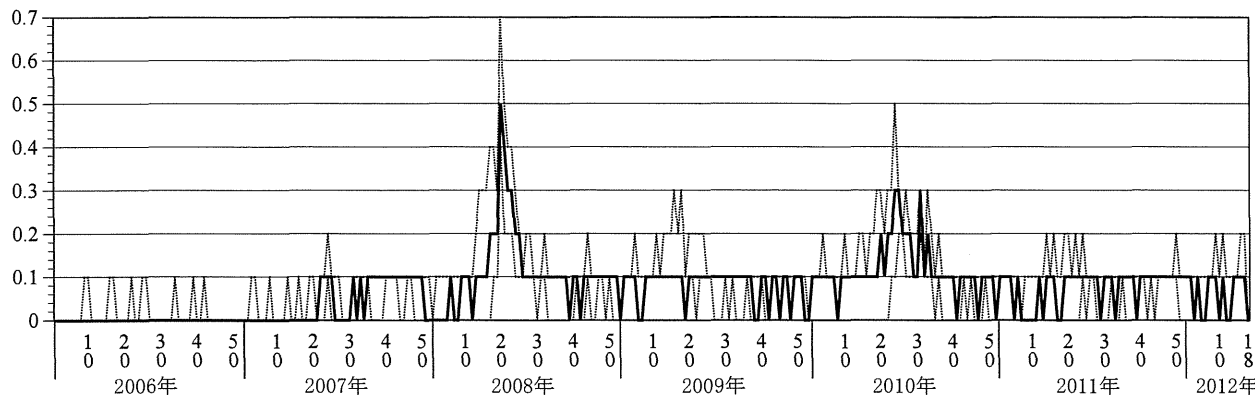


図 1 - 9 . 疾患別罹患数推計値 ヘルパンギーナ

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	72.4	66.3 - 78.6	78.1	70.7 - 85.4	67.7	62.0 - 73.4	45.4	41.3 - 49.5	82.4	74.2 - 90.7	82.6	75.4 - 89.7
男	37.4	34.2 - 40.6	40.3	36.3 - 44.3	35.0	32.1 - 37.9	23.5	21.6 - 25.5	42.5	38.2 - 46.9	43.0	39.3 - 46.7
女	35.0	32.0 - 38.0	37.7	34.3 - 41.2	32.7	29.8 - 35.6	21.9	19.5 - 24.2	39.9	35.8 - 44.1	39.6	35.9 - 43.2
0～4歳	57.1	52.0 - 62.2	59.3	53.6 - 65.1	54.3	49.5 - 59.1	34.3	31.4 - 37.3	62.4	56.9 - 67.9	61.9	56.9 - 66.8
5～9歳	12.3	11.2 - 13.5	15.0	13.4 - 16.7	10.8	9.9 - 11.8	7.9	7.1 - 8.8	16.1	14.1 - 18.1	16.4	14.4 - 18.5
10～14歳	1.3	1.2 - 1.4	1.5	1.3 - 1.6	1.0	0.8 - 1.1	1.2	1.0 - 1.4	1.6	1.0 - 2.1	1.9	1.5 - 2.3
15歳以上	1.6	1.1 - 2.2	2.2	1.2 - 3.3	1.6	0.7 - 2.6	2.0	0.7 - 3.3	2.4	0.5 - 4.3	2.3	0.5 - 4.2

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

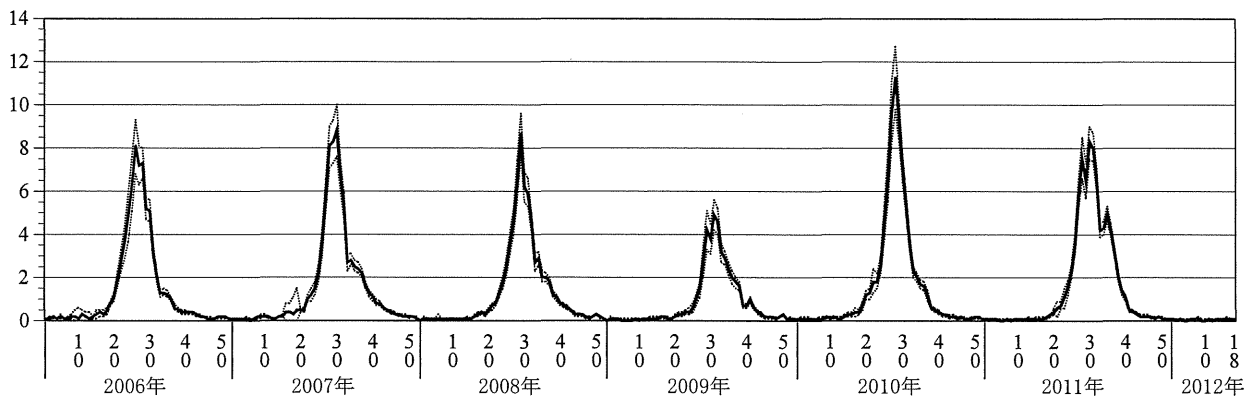


図 1 - 10 . 疾患別罹患数推計値 流行性耳下腺炎

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	118.6	109.4 - 127.9	43.1	35.5 - 50.8	42.6	34.5 - 50.7	64.3	56.2 - 72.5	108.6	101.7 - 115.5	80.1	70.7 - 89.4
男	61.5	56.8 - 66.2	23.4	19.0 - 27.8	23.3	18.5 - 28.1	35.0	30.4 - 39.6	57.4	53.6 - 61.3	42.5	37.8 - 47.1
女	57.2	52.5 - 61.9	19.7	16.5 - 23.0	19.3	15.9 - 22.7	29.4	25.7 - 33.0	51.2	47.9 - 54.5	37.6	32.7 - 42.4
0～4歳	51.0	47.1 - 54.9	19.1	13.7 - 24.5	19.9	14.8 - 25.0	30.0	25.7 - 34.2	45.8	42.7 - 48.9	33.2	29.7 - 36.8
5～9歳	55.0	50.4 - 59.6	19.5	17.0 - 22.1	19.0	16.0 - 22.0	28.8	25.2 - 32.4	51.8	48.2 - 55.4	38.0	33.3 - 42.7
10～14歳	7.5	6.7 - 8.3	2.9	2.6 - 3.1	2.2	2.0 - 2.4	3.5	3.0 - 4.0	7.4	6.7 - 8.1	5.6	4.9 - 6.2
15歳以上	5.1	4.4 - 5.9	1.6	1.4 - 1.8	1.4	1.2 - 1.6	2.1	1.8 - 2.4	3.6	3.1 - 4.1	3.2	2.4 - 4.1

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

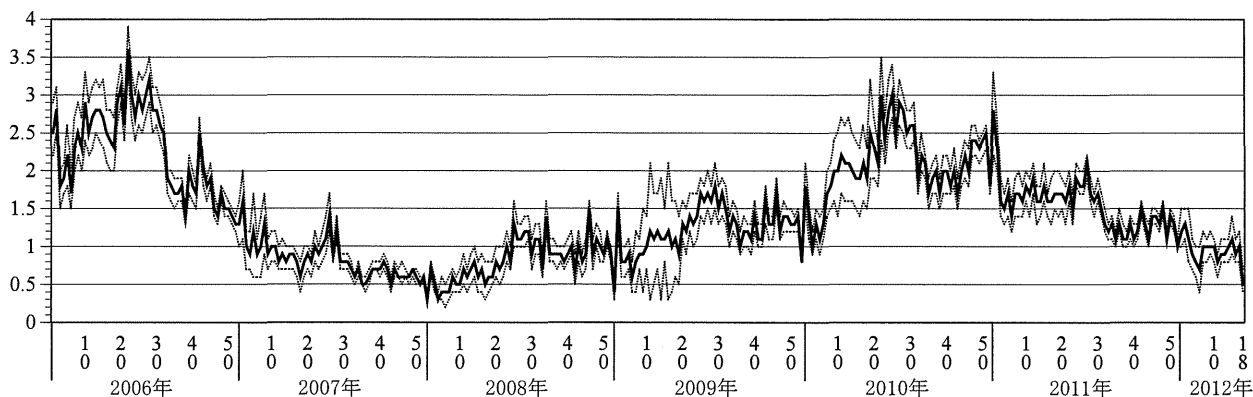


図 1 - 11. 疾患別罹患数推計値 急性出血性結膜炎

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	1.2	0.9 - 1.5	1.3	0.9 - 1.7	1.4	0.9 - 1.8	0.8	0.6 - 1.1	1.1	0.7 - 1.4	4.8	1.8 - 7.8
男	0.6	0.4 - 0.7	0.6	0.4 - 0.8	0.6	0.4 - 0.9	0.4	0.2 - 0.5	0.5	0.3 - 0.6	2.5	1.0 - 4.0
女	0.6	0.4 - 0.8	0.7	0.5 - 0.9	0.7	0.5 - 0.9	0.5	0.3 - 0.6	0.6	0.4 - 0.8	2.3	0.8 - 3.8
0～4歳	0.2	0.1 - 0.2	0.2	0.1 - 0.3	0.2	0.1 - 0.3	0.1	0.1 - 0.1	0.2	0.0 - 0.3	0.6	0.2 - 1.0
5～9歳	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.6	0.2 - 1.0
10～14歳	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.0	0.0 - 0.1	0.0	0.0 - 0.1	0.8	0.1 - 1.5
15～19歳	0.0	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.1 - 0.1	0.0	0.0 - 0.1	0.0	0.0 - 0.1	0.5	0.2 - 0.9
20～29歳	0.2	0.1 - 0.3	0.2	0.1 - 0.3	0.2	0.1 - 0.2	0.1	0.1 - 0.1	0.1	0.1 - 0.2	0.4	0.2 - 0.6
30～39歳	0.3	0.2 - 0.3	0.3	0.2 - 0.4	0.2	0.2 - 0.3	0.2	0.1 - 0.2	0.2	0.2 - 0.3	0.7	0.3 - 1.0
40～49歳	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.1 - 0.2	0.2	0.1 - 0.2	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.1 - 0.2	0.4	0.2 - 0.7
50～59歳	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.1 - 0.1	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.1 - 0.1	0.3	0.1 - 0.5
60～69歳	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.1 - 0.2	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.2	0.1 - 0.3
70歳以上	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.0	0.0 - 0.1	0.1	0.0 - 0.1	0.2	0.1 - 0.3

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

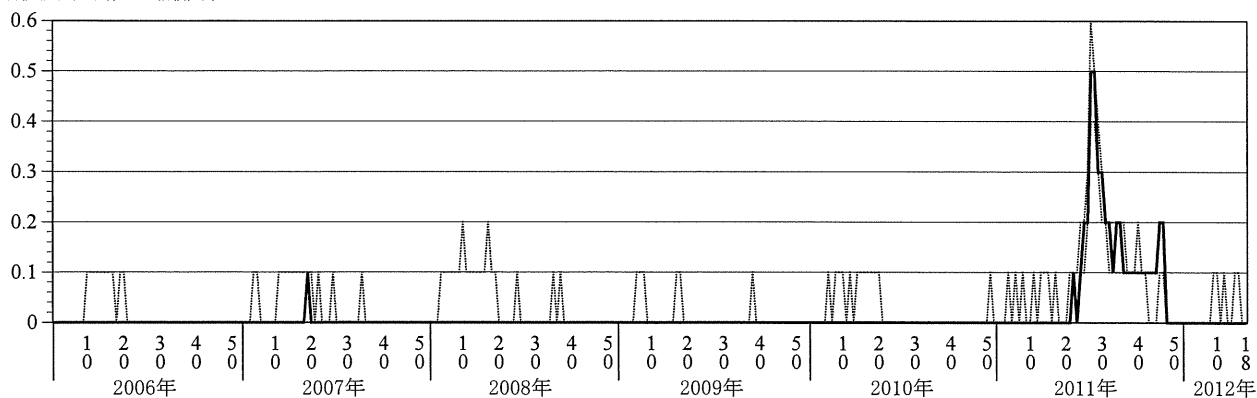


図 1 - 12. 疾患別罹患数推計値 流行性角結膜炎

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	46.7	41.5 - 51.8	34.1	31.0 - 37.3	34.9	31.3 - 38.4	24.1	21.2 - 27.0	31.2	27.9 - 34.5	30.3	27.1 - 33.6
男	23.6	20.9 - 26.3	17.6	16.0 - 19.1	17.8	16.1 - 19.5	12.6	11.1 - 14.0	16.4	14.7 - 18.1	16.1	14.5 - 17.8
女	23.1	20.5 - 25.7	16.6	14.9 - 18.2	17.1	15.2 - 19.0	11.5	10.0 - 13.0	14.8	13.1 - 16.5	14.2	12.6 - 15.8
0～4歳	5.9	5.1 - 6.6	4.0	3.4 - 4.5	4.5	3.8 - 5.1	2.7	2.2 - 3.1	4.2	3.5 - 5.0	4.0	3.4 - 4.6
5～9歳	3.7	3.2 - 4.1	2.6	2.3 - 2.9	2.7	2.3 - 3.0	1.6	1.3 - 1.8	2.2	1.9 - 2.5	2.3	2.0 - 2.6
10～14歳	1.7	1.5 - 2.0	1.2	1.0 - 1.3	1.2	1.0 - 1.3	0.8	0.7 - 0.9	1.1	0.9 - 1.2	1.2	1.0 - 1.4
15～19歳	1.7	1.4 - 1.9	1.3	1.1 - 1.4	1.2	1.0 - 1.3	0.9	0.7 - 1.0	1.1	1.0 - 1.3	1.1	0.9 - 1.2
20～29歳	7.6	6.5 - 8.7	5.3	4.8 - 5.9	5.1	4.6 - 5.6	3.7	3.3 - 4.2	4.6	4.1 - 5.1	4.4	3.9 - 4.9
30～39歳	10.6	9.5 - 11.8	8.1	7.4 - 8.8	8.1	7.3 - 8.8	5.4	4.8 - 6.0	6.9	6.1 - 7.6	7.1	6.3 - 7.8
40～49歳	4.7	4.1 - 5.3	3.8	3.4 - 4.1	3.8	3.4 - 4.1	2.8	2.5 - 3.1	3.7	3.4 - 4.1	4.0	3.6 - 4.4
50～59歳	4.8	4.2 - 5.3	3.3	3.0 - 3.7	3.5	3.0 - 3.9	2.3	2.0 - 2.6	2.8	2.5 - 3.1	2.6	2.3 - 2.9
60～69歳	3.6	3.1 - 4.0	2.7	2.3 - 3.0	2.9	2.4 - 3.3	2.1	1.8 - 2.4	2.6	2.3 - 2.9	2.3	2.0 - 2.6
70歳以上	2.4	2.0 - 2.8	1.9	1.6 - 2.2	2.2	1.7 - 2.7	1.9	1.3 - 2.6	2.0	1.6 - 2.4	1.5	1.2 - 1.8

単位：万人

週別全国罹患数の推計値(万人) 点線は95%信頼区間

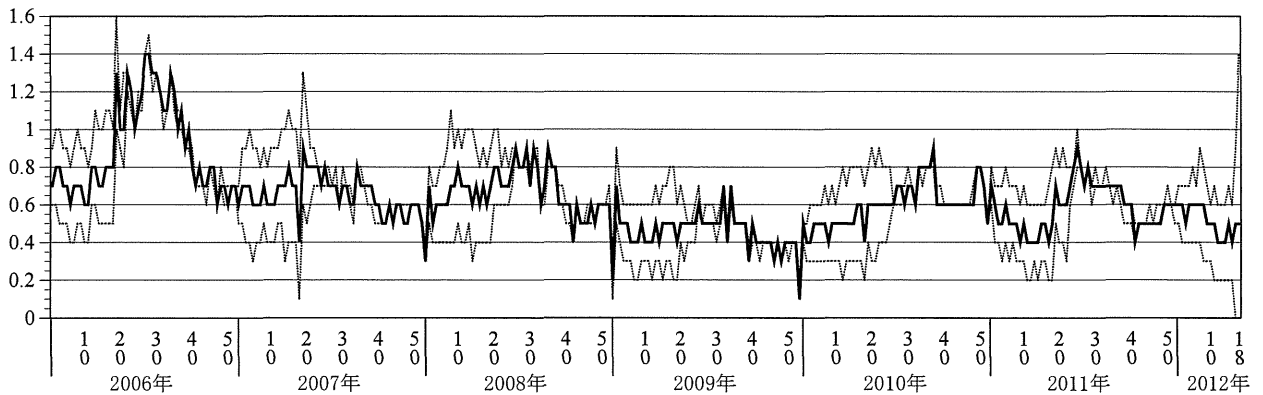


図 2 . インフルエンザの年別、シーズン別、週別罹患数推計値

	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間	推計値	95%信頼区間
総数	977	920 - 1,033	1,274	1,197 - 1,352	630	586 - 674	3,067	2,909 - 3,224	315	300 - 330	1,394	1,307 - 1,480
男	493	464 - 523	645	606 - 684	322	299 - 345	1,579	1,498 - 1,660	160	152 - 167	708	665 - 752
女	483	456 - 511	629	590 - 667	308	286 - 329	1,488	1,411 - 1,565	155	148 - 163	685	642 - 728
0～4歳	178	164 - 192	190	173 - 208	109	98 - 119	386	356 - 416	40	37 - 43	200	182 - 218
5～9歳	217	202 - 233	306	280 - 332	157	141 - 172	819	760 - 877	58	54 - 62	361	330 - 393
10～14歳	119	113 - 125	223	207 - 239	74	68 - 80	660	618 - 702	37	35 - 40	215	196 - 233
15～19歳	66	61 - 72	94	88 - 100	33	31 - 36	332	315 - 350	29	27 - 31	79	74 - 83
20～29歳	96	87 - 106	124	116 - 133	73	67 - 79	291	275 - 308	58	54 - 62	154	145 - 163
30～39歳	116	106 - 127	134	126 - 143	88	82 - 94	263	249 - 276	40	38 - 42	157	148 - 166
40～49歳	70	64 - 76	85	80 - 91	48	45 - 52	168	159 - 176	24	22 - 25	100	94 - 106
50～59歳	51	47 - 56	54	49 - 58	24	22 - 26	78	74 - 82	16	15 - 17	64	61 - 68
60～69歳	29	26 - 33	30	28 - 33	13	11 - 14	38	36 - 40	7	6 - 7	35	33 - 37
70歳以上	33	28 - 38	33	31 - 36	11	10 - 13	32	29 - 35	6	5 - 7	29	27 - 31

単位：万人

	2006/2007	2007/2008	2008/2009	2009/2010	2010/2011	2011/2012
総計	1,136	699	1,393	2,091	1,388	1,651
男	568	351	710	1,074	704	831
女	557	339	680	1,011	680	817
0～4歳	166	121	204	232	193	257
5～9歳	258	183	369	524	356	450
10～14歳	202	81	231	478	212	263
15～19歳	87	33	83	282	79	79
20～29歳	107	79	144	220	156	116
30～39歳	113	91	158	155	154	165
40～49歳	76	50	96	101	99	121
50～59歳	48	23	48	47	63	72
60～69歳	26	11	26	17	33	57
70歳～	31	10	21	15	24	69

推計値はいずれも期間中の週別罹患数推計値の合計。
週別推計の有効数字のため、総数の値と年齢階級別推計値の合計値は異なる。

2006/2007年、2007/2008年、2010/2011年：第36週～翌年第35週。

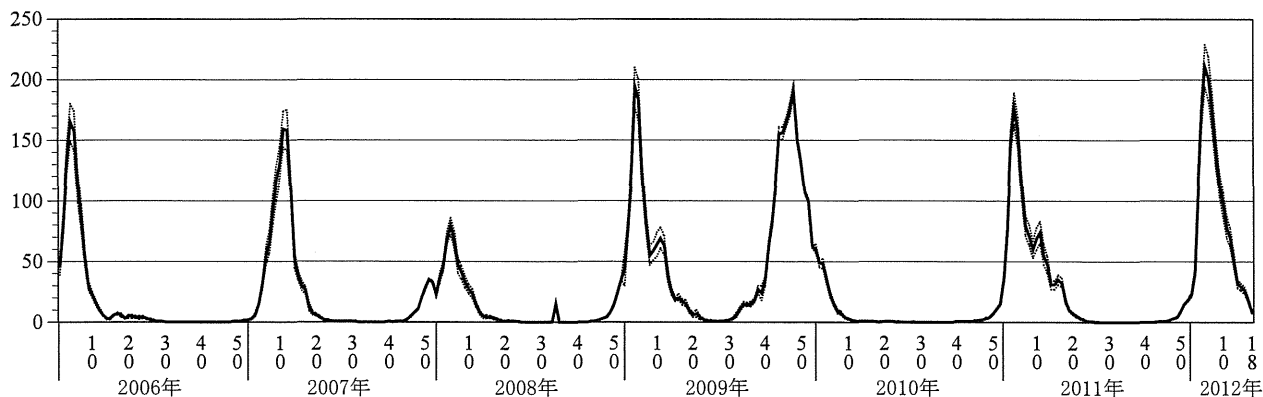
2008/2009年：2008年第36週～2009年第27週。

2009/2010年：2009年第28週～2010年第35週。

2011/2012年：2011年第36週～2012年第18週。

2012年の値は暫定値。

週別全国罹患数の
推計値(万人) 点線は95%信頼区間



厚生労働科学研究費補助金（新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業）
分担研究報告書

自然災害時を含めた感染症サーベイランスの強化・向上に関する研究

疫学的・統計学的なサーベイランスの評価と改善グループ

インフルエンザの型別罹患数の推計

研究協力者	村上 義孝	滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門 准教授
	橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学 教授
	川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学 講師
	太田 晶子	埼玉医科大学医学部公衆衛生学 講師
	谷口 清州	国立感染症研究所感染症情報センター 客員研究員
	多田 有希	国立感染症研究所感染症情報センター 第二室 室長
	重松 美加	国立感染症研究所感染症情報センター 主任研究官
研究分担者	永井 正規	埼玉医科大学医学部公衆衛生学 教授

研究要旨

インフルエンザの週別推計罹患数に病原体情報を加味することで、2010年第36週から2012年第18週のインフルエンザ型別罹患数の推計を実施した。病原体情報から抽出したインフルエンザウィルス分離数・検出数を使用し、インフルエンザの型別割合(%)を算定、インフルエンザの週別推計罹患数に乗じることで0-4歳、5-19歳、20-59歳、60歳以上の年齢階級別罹患数および95%信頼区間を推計した。その結果、2011/2012年シーズンの流行ピークがA(H3)では2011年第5週(174.4万人(95%信頼区間:164.4-184.4万人))、Bでは2012年第10週(55.9万人(95%信頼区間:49.3-62.4万人))であること、A(H1)pdmが流行した2010/2011年シーズンと異なることが定量的に示された。

A. 研究目的

2010年第36週から2012年第18週を対象に、インフルエンザの週別推計罹患数に病原体情報を加味することで、型別の罹患数の推計を実施し、流行状況の考察を行った。

B. 研究方法

使用したデータはインフルエンザの週別推計罹患数および週別のインフルエンザウィルスの型の分布(型別割合%)の2つである。インフルエンザの週別推計罹患数に際しては感染症発生動向システムから抽出した情報を利用、推定した。週別のインフルエンザウィルスの型の割合は、病原体情報から抽出したインフルエンザウィルス分離数・検出数を使用し、インフルエンザの型別割合(%)を算定した。年齢カテゴリは病原体情報に合わせて0-4歳、

5-19歳、20-59歳、60歳以上の4カテゴリとするとともに、全年齢の総計も合わせて算定した。週別推計罹患患者数の精度を示す95%信頼区間は、型別推計患者数の分散と型別割合の分散を用いることで算定した。インフルエンザの型別罹患数推計の期間はインフルエンザ流行期を含む形とするため、2010年第36週から2012年18週とした。

(倫理面への配慮)

本研究では、個人情報を含むデータを取り扱わないため、個人情報保護に関係する問題は生じない。「疫学研究に関する倫理指針」の適用範囲ではないが、資料の利用や管理など、その倫理指針の原則を遵守した。

C. 研究結果

図1に2010年第36週から2012年第

18週 of インフルエンザ型別の推計罹患数に関する週別推移を示した。A(H1)pdm の週別罹患数の推移をみると2011年第4週にピークを示す一峰性の分布を示した。一方 A(H3)では2011年には第5週から第11週の期間で高値を、2012年には第5週にピークを示す一峰性の分布を示した。B型については2011年には第11週をピーク、2012年には第10週をピークとした一峰性の分布を示した。最後に A(H1)では2010/2011年シーズンでは明瞭でないものの2011年には第5週にピークを示した。図2に2010年36週-2012年18週のインフルエンザ亜型別にみた年齢階級別罹患数の積み上げグラフを示した。A(H1)pdm は2011年に5-19歳、20-59歳のカテゴリで罹患数が多く、A(H3)は2011年では5-19歳、2012年では5-19歳と20-59歳のカテゴリの罹患数が多かった。またBでは2011年、2012年ともに5-19歳のカテゴリの罹患数が圧倒的に多かった。

表1に2011/2012年シーズンにおける、流行ピーク時のインフルエンザ型別罹患数(A(H3)、B、A(H1))とその95%信頼区間を示した。A(H3)のピークは2012年第5週で、罹患数の合計は174.4万人であった。年齢別では0-4歳で26.4万、5-19歳で80.9万、20-59歳で52.6万、60歳以上14.5万と5-19歳のカテゴリで多くの罹患者数を示していた。なお年齢階級別の罹患者数のピークは60歳以上(2012年第6週:15.9万)を除き、全体のピーク(2012年第5週)と一致していた。Bのピークは2012年第10週で罹患数の合計は55.9万人であった。年齢別では0-4歳で7.1万、5-19歳で36.4万、20-59歳で10.4万、60歳以上2.0万と5-19歳のカテゴリで多くの罹患者数を示していた。なお、年齢階級別の罹患数のピークは全体のピーク(2012年第10週)と5-19歳、20-59歳、65歳以上で一致していたが、0-4歳では2012年第11週(7.4万)とずれていた。A(H1)のピークは2012年第5週で罹患数の合計は2.1万人であった。年齢別では0-4歳で0.9万、5-19歳で1.1万と20歳

未満のカテゴリで多くの罹患者数を示していた。

D. 考察

インフルエンザについて、患者報告と病原体報告の情報を組み合わせ、型別罹患数を推計する方法を、昨年引き続き2011/2012年シーズンに適用した。2010/2011年シーズンの特徴として、A(H1)pdm の罹患数推計値が大きかったことが挙げられる。このことは今回の2011/2012年シーズンの結果との比較で、今回明瞭に示された。

2011/2012年シーズンにおいて罹患数の多くはA(H3)であり、Bがそれに続く形となっていた。また年齢階級別の結果の比較からA(H3)はBに比べ成人での罹患数が多いこと等が定量的に示された。インフルエンザの型別罹患数推計を実施することで、時間的推移など流行の特徴、年齢構成など人口学的特徴を検討することが可能となる。これらは感染症疫学における基礎資料を与えると同時に、公衆衛生対策立案の材料として重要であると思われる。

昨年度に引き続き、罹患数推計値と95%信頼区間を表に示した。今回の罹患数推計の精度を示す95%信頼区間の幅の大きさはインフルエンザ型別の推計患者数の分散と、病原体情報から抽出されたウィルス分離数・検出数の割合の分散によって決定される。今回の流行ピーク時における推計罹患数で見ると、A(H3)の流行最盛期における罹患者数174.4万に対し95%信頼区間は164.4万から184.4万と、推定精度が約6%という高い値を示した。同様にBでは罹患数55.9万、95%信頼区間49.3万-62.4万と約12%程度の推定精度であったが、A(H1)では罹患数2.1万、95%信頼区間0.5万-3.6万と70%以上の推定精度と著しく低かった。罹患数推計の元となる病原体情報データは2011年第48週:78、2012年第1週:168、第5週:665、第10週:308と、流行時には増えるものの全体的に少なく、そのことが罹患数の少ない型の罹患数の標準誤差推計に影響を与えている。今回、

流行時に患者数の多い型では、現在の病原体情報から十分に精度が高い罹患数推計が可能であることが示された。また非流行時や患者数の少ない型では罹患数推計の精度が低かったが、これは病原体情報が少数である問題以上に罹患数推計自体の限界が大きいと思われる。

インフルエンザ型別罹患数推計の今後の課題として上記の病原体分離数の問題のほか、結果解釈の問題がある。例えば60歳以上の高齢者における型別罹患動向の違いなどは高い関心があるが、これはデータを蓄積することで徐々に明らかになると思われる。また2012/13年シーズンにA(H3)の年齢分布が変化したとの個別報告もある。これら視点を盛り込み、次年度の検討を進めていく予定である。

E. 結論

インフルエンザの週別推計罹患数に病原体情報を加味することで昨年に引き続き、2011/2012年シーズンのインフルエンザ型別罹患数の推計を実施し

た。その結果、2011/2012年シーズンではA(H3)の罹患数が多く、その流行ピーク2012年第5週であり、Bは2012年第10週付近とずれていることがわかった。またA(H1)pdmが流行した2010/2011年シーズンと異なることが定量的に示された。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

図 1 インフルエンザ亜型別の罹患数の推移 (2010年36週-2012年18週)

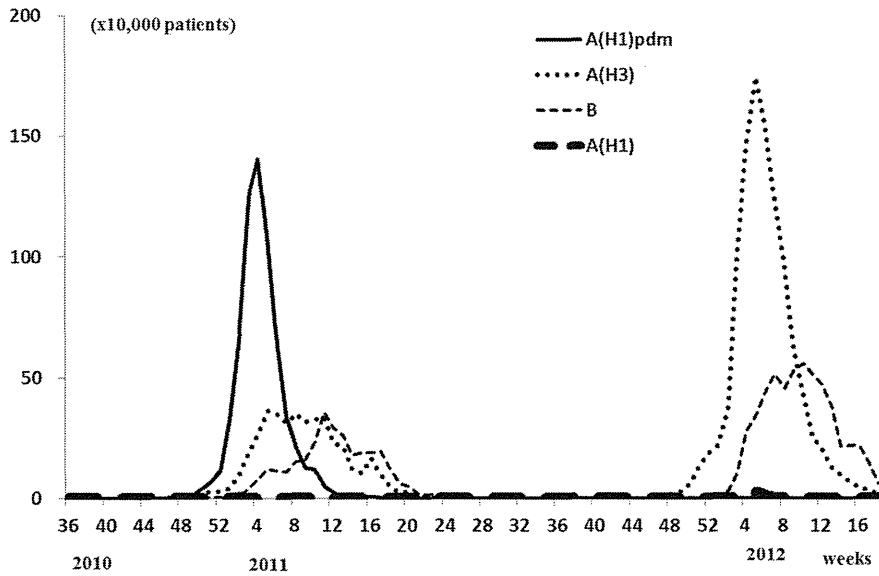


図 2 インフルエンザ亜型別、年齢階級別罹患数の積み上げグラフ (2010年36週-2012年18週)

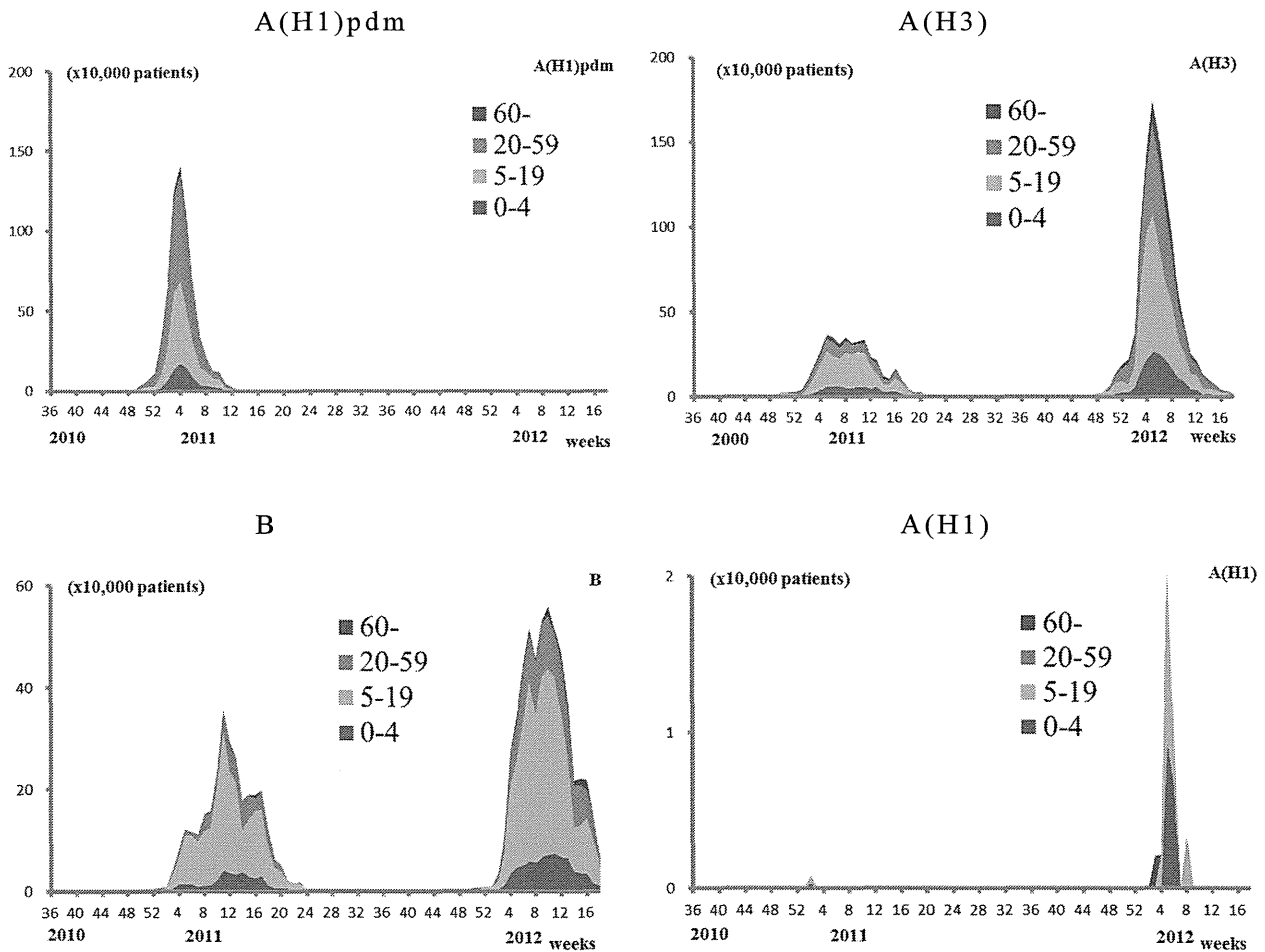


表 2011/2012年シーズンのピーク時におけるインフルエンザ型別(A(H3)、B、A(H1))の年齢階級別推計罹患数と95%信頼区間

A(H3)

2012年第5週	点推定値	95%信頼区間
0-4歳	26.4万	22.3万-30.4万
5-19歳	80.9万	73.1万-88.8万
20歳-59歳	52.6万	48.2万-57.0万
60歳以上	14.5万	12.8万-16.2万
総計	174.4万	164.4万-184.4万

B

2012年第10週	点推定値	95%信頼区間
0-4歳	7.1万	5.0万-9.3万
5-19歳	36.4万	31.6万-41.2万
20歳-59歳	10.4万	6.6万-14.1万
60歳以上	2.0万	0.7万-3.3万
総計	55.9万	49.3万-62.4万

A(H1)

2012年第5週	点推定値	95%信頼区間
0-4歳	0.9万	0.0万-2.0万
5-19歳	1.1万	0.0万-2.2万
20歳-59歳	0.0万	0.0万-0.0万
60歳以上	0.0万	0.0万-0.0万
総計	2.1万	0.5万-3.6万

注：2011/2012年シーズンにおいて、A(H1)pdmの週当たり推定罹患数が5,000人を越える週は存在しなかったため割愛した。

自然災害時を含めた感染症サーベイランスの強化・向上に関する研究

疫学的・統計学的なサーベイランスの評価と改善グループ

性感染症定点把握対象疾患の罹患数の推計

—性感染症定点の配置状況—

研究協力者	川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学	講師
	橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学	教授
	村上 義孝	滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門	准教授
	太田 晶子	埼玉医科大学医学部公衆衛生学	講師
	谷口 清州	国立感染症研究所感染症情報センター	客員研究員
	多田 有希	国立感染症研究所感染症情報センター	第二室 室長
	重松 美加	国立感染症研究所感染症情報センター	主任研究官
研究分担者	永井 正規	埼玉医科大学医学部公衆衛生学	教授

研究要旨

疫学的・統計学的なサーベイランスの評価と改善グループでは、課題の一つとして全国年間罹患数推計に関する検討を行ってきた。性感染症定点対象疾患の罹患数の推計のための検討として、感染症発生動向調査における性感染症定点について、都道府県別、医療施設特性別の配置状況と報告状況を確認した。2009年10月に報告ありの定点は964施設であった。多くの都道府県で概ね基準数に沿った定点数が設定されていた。都道府県別の定点における医療施設特性の分布をみると、産婦人科系の占める割合が13～80%、皮膚科は0～30%、泌尿器科は13～63%と都道府県によって大きく異なっており、病院のみ、あるいは一般診療所のみが指定されている場合もあった。医療施設特性によって報告状況が大きく異なり、サーベイランスとして都道府県内の定点配置における診療科等の分布の見直しの重要性が示唆された。

A. 研究目的

感染症発生動向調査の主目的は流行の早期把握であるが、副次的目的として定点把握対象疾患の全国罹患数の推計が挙げられる。本研究グループでは、課題の一つとして全国年間罹患数推計に関して検討を行ってきた。2006年4月1日より利用開始されたシステムにおいては、本研究グループが提案した方法により、インフルエンザ・小児科定点対象12疾患（2008年より10疾患に減）・眼科定点対象2疾患について毎週の報告数が得られると同時に逐次的に全国罹患数推計が行われ、週別・月別・年別に、性別または年齢階級別の全国罹患数推計値が計算されてい

る。

ここでは、性感染症定点把握対象疾患の罹患数の推計のための検討として、感染症発生動向調査における性感染症定点について、都道府県別、医療施設特性別の配置状況と報告状況を確認した。

B. 研究方法

資料として、感染症発生動向調査から2009年の定点情報と定点別報告数、2008年の医療施設調査から全国の医療施設数を用いた。

医療施設特性として、病院と一般診療所、および診療科で分類した。診療科は、産婦人科系（産婦人科・産科・